

## 学校法人帝京大学グループの現状（その1）

### はじめに

本報告は学校法人帝京大学4グループの設置する大学・短大の現状の概観にとどまる。分析・評価は今後の課題とする。

### 一 諸指標に見る帝京大学

#### 1 帝京大学グループの大学・短大

帝京大学(1966年設置、板橋・相模湖・八王子・宇都宮・福岡)

帝京平成大学(1987年帝京技術科学大学として設置し、95年に改称 本拠千葉、池袋)

帝京科学大学(1990年西東京科学大学として設置し、1996年に改称、山梨県上野原)

帝京大学短期大学(1965年帝京女子短期大学として設置、1998年改称、本拠は八王子)

帝京短期大学(1962年設置、本拠は渋谷区幡ヶ谷)

帝京学園短期大学( 山梨県小淵沢)

帝京平成看護短期大学(1990年帝京平成短期大学として設置、2005年改称、千葉)

#### コメント

大学は、1966年から1990年にかけて設置されている。大学新設ラッシュの波の中で急速に規模を拡大してきた。帝京大学が設置の認可を受けた1966年には26大学、翌67年には21の大学が新設された。ちなみに、1963年から1968年の6年間に120の大学が新設され、そのピークは1966年であった。

#### 2 現在の規模(平成19年4月現在)

帝京大学グループの大学・短大の規模は以下の通りである。このほかに専門学校、小中高の学校を擁している。なお、教員数は一部の大学しか分からない。

帝京大学	学部学生	22,288	男 16,429	女 5,859	教員
帝京平成大学	学部学生	7870名	男 5,095	女 2,775	教員 301
帝京科学大学	学部学生	2,244名	男 1,415	女 829	専任教員 62
帝京大学短期大学	学生	409名	男 176	女 233	教員
帝京短期大学	学生	524名	男 59	女 465	教員
帝京学園短期大学	学生	200名(収容定員)			
帝京平成看護短期大学		200名(入学定員)			
	合計	33,335~33,935(一部定員分を参入している)			

#### コメント

帝京を冠する大学・短大の総学生数は3万3千~3万4千になる。設置から40年、実質は30年で、規模から見れば、日本有数の私立大学に成長したことになる。

### 3 帝京大学グループの構成(平成19年4月現在)とその沿革

その成長の秘密は、短期間における総合大学化である。現在の学部・学科構成とその定員は以下のようなものである。医学部を含む総合大学である。

帝京大学	定員(平成20年度募集人員)	
医学部	100	医学科
薬学部	320	薬学科
経済学部	1365	経済学科 / 経営学科 / 観光経営学科
法学部	550	法律学科
文学部	1039	日本文化学科 / 教育学科[教育学専攻/初等教育学専攻(初等教育コース/幼児教育コース)] / 史学科 / 社会学科 / 心理学科
外国語学部	220	外国語学科[英語コース/ドイツ語コース/フランス語コース/スペイン語コース/中国語コース/韓国語コース/イギリス留学コース]
理工学部	385	機械・精密システム工学科[オートモビルテクノロジーコース]/航空宇宙工学科/電気・電子システム工学科※/情報科学科※/バイオサイエンス学科/情報科学科通信教育課程/ヒューマン情報システム学科※

※2008年4月理工学部電気・電子システム工学科と情報科学科を統合し、ヒューマン情報システム学科として開設予定

医療技術学部	790	視能矯正学科/看護学科/診療放射線学科/臨床検査学科/スポーツ医療学科[健康スポーツコース/救急救命士コース]/柔道整復学科※
--------	-----	---

※2008年4月開設予定

福岡医療技術学部	120	理学療法学科/作業療法学科
----------	-----	---------------

定員合計 4889

帝京平成大学		
薬学部	240	薬学科
現代ライフ学部	840	児童学科、人間文化学科、経営マネジメント学科、情報サイエンス学科
ヒューマンケア学部	277	身体機能ケア、看護学科
健康メディカル学部	415	臨床心理学科、健康栄養学科、言語聴覚学科、作業療法学科、理学療法学科
地域医療学部	210	柔道整復学科、作業療法学科、理学療法学科
計	1982	

#### 帝京科学大学

こども学部	50	こども学科（平成20年度）
生命環境学部	430	アニマルサイエンス学科、生命科学科、環境科学科
医療科学部	80	理学療法学科、作業療法学科
計	560	
大学院修士課程	60	

帝京大学短期大学 人間文化学科、現代ビジネス学科

帝京短期大学 ライフケア学科

こども教育学科

生活科学科

帝京学園短期大学 100 保育科

帝京平成看護短期大学 200 専攻科(助産学専攻)、看護学科

#### 4 沿革

グループの骨格大学である帝京大学が総合大学としての骨格を形成する理工学部を設置まで20年余である。このスピードが一つの鍵であろう。以下の沿革にもある通り、1966年の帝京大学設置（経済、文学部の2学部）から67年の法学部、1971年の医学部、平成元年の理工学部となる。

1931 東京都渋谷区に帝京商業学校（現・帝京大学高等学校）として創立

1944 帝京女子工業商業学校

1962 帝京短期大学（家政科）

1965 帝京女子短期大学（英文科）

1966 帝京大学設立（経済学部経済学科、文学部国文学科、英文学科）

1967 帝京大学（法学部）

1971 帝京大学（医学部）

1973 帝京大学（文学部教育学科）

1977 帝京大学（大学院医学研究科・博士課程） 帝京大学（薬学部）

1979 帝京大学（大学院文学研究科・修士課程）

1981 帝京大学（大学院薬学研究科・修士課程）

1982 帝京大学（大学院経済学研究科・修士課程）

1983 帝京大学（大学院薬学研究科・博士課程） 帝京大学（大学院法学研究科・修士課程） 帝京大学（大学院文学研究科・博士課程）

1984 帝京大学（文学部史学科） 帝京女子短期大学（秘書科）

1985 帝京大学（大学院経済学研究科・博士課程）

1986 帝京大学（大学院法学研究科・博士課程） 帝京大学（文学部社会学科）

1987 帝京技術科学大学（情報学部情報工学科、情報システム学科、経営情報学科）

九州帝京短期大学（英文科、国文科、経営情報科）

1988 帝京大学（文学部心理学科、国際文化学科）

帝京短期大学（家政科を生活科学科に改称）

- 1989 帝京大学(理工学部機械・精密システム工学科、材料科学工学科、電気・電子システム工学科、情報科学科、バイオサイエンス学科) 帝京ロンドン学園(高等部)
- 1990 帝京大学ダーラム分校 帝京大学(留学生別科/日本語専攻)  
西東京科学大学(理工学部電子・情報科学科、バイオサイエンス学科、物質工学科、経営工学科) 帝京平成短期大学(看護学科、福祉学科)
- 1992 帝京大学ベルリンキャンパス 帝京技術科学大学(大学院情報学研究科・修士課程)
- 1993 帝京平成短期大学(専攻科)
- 1994 帝京技術科学大学(大学院情報学研究科・博士課程、文化情報学科)  
西東京科学大学(大学院理工学研究科・修士課程)
- 1995 帝京平成大学(帝京技術科学大学を改称)
- 1996 帝京科学大学(西東京科学大学を改称、大学院理工学研究科・博士課程)
- 1997 帝京平成大学(福祉情報学科)  
帝京科学大学(経営工学科をマネジメントシステム学科に改称)
- 1998 帝京科学大学(物質工学科を環境マテリアル学科に改称)  
帝京大学短期大学(帝京女子短期大学を改称、男女共学に)  
帝京マレーシア日本語学院
- 1999 帝京大学(大学院文学研究科国文学専攻を日本アジア言語文化専攻に、英文学専攻を米英言語文化専攻に改称)  
帝京大学(国文学科を日本アジア言語文化学科に、英文学科を米英言語文化学科に改称)  
帝京大学短期大学(英文科を国際コミュニケーション学科に、秘書科を情報ビジネス学科に改称)  
帝京大学福岡短期大学(九州帝京短期大学を改称、英文科を国際コミュニケーション学科に、国文科を日本文化学科に、経営情報科を経営情報学科に改称)
- 2000 帝京大学(大学院理工学研究科総合工学専攻・修士課程)  
帝京大学(経済学部環境ビジネス学科)  
帝京科学大学(電子・情報科学科をメディアサイエンス学科に改称)
- 2001 帝京大学(大学院文学研究科臨床心理学専攻・修士課程、国際総合文化専攻・修士課程)  
帝京大学(理工学部材料科学工学科を航空宇宙工学科に改称)  
帝京大学福岡短期大学(経営情報学科を情報ビジネス学科に改称)
- 2002 帝京平成大学(健康メディカル学部臨床心理学科、言語聴覚学科、作業療法学科、理学療法学科)  
帝京科学大学(理工学部アニマルサイエンス学科)
- 2004 帝京大学(大学院経済学研究科経営学専攻・修士・博士課程)  
帝京大学(大学院理工学研究科総合工学専攻・博士課程)  
帝京大学(医療技術学部視能矯正学科)  
帝京平成大学(薬学部薬学科、ヒューマンケア学部身体機能ケア学科、看護学科)
- 2005 帝京大学(大学院文学研究科心理学専攻・博士課程)  
帝京大学(大学院文学研究科日本アジア言語文化専攻を日本文化専攻に改称)

帝京平成大学（大学院健康情報科学研究科臨床心理学コース、リハビリテーションコース・修士・博士課程）

帝京科学大学（大学院理工学研究科アニマルサイエンス専攻、経営情報システム専攻をメディア情報システム専攻に改称）

帝京大学（医療技術学部看護学科、診療放射線学科、福岡医療技術学部理学療法学科、作業療法学科）

帝京大学（文学部日本アジア言語文化学科を日本文化学科に改称）

帝京平成大学（現代ライフ学部人間文化学科、経営マネジメント学科、情報サイエンス学科）

帝京科学大学（理工学部環境マテリアル学科を環境科学学科に、メディアサイエンス学科をメディア情報システム学科に改称）

帝京平成看護短期大学（帝京平成短期大学を改称）

2006 帝京大学（大学院医療技術学研究科視能矯正学専攻・修士・博士課程）

帝京大学（経済学部観光経営学科、医療技術学部臨床検査学科）

帝京大学（薬学部薬学科6年制移行）

帝京平成大学（現代ライフ学部児童学科、健康メディカル学部健康栄養学科）

2007 帝京大学（外国語学部、医療技術学部）にスポーツ医療学科/健康スポーツコース・救急救命士コース）

帝京短期大学（こども教育学科）

## 5 財政力

### 1) 私立大学寄付金ランキング 2003（関東版）

早稲田大学	55 億円	慶應義塾大学	38 億円	日本大学	36 億円
中央大学	12 億円	帝京大学	8 億円	東京理科大学	8 億円
法政大学	6 億円	上智大学	6 億円	立教大学	6 億円
明治大学	5 億円				

### 2) 私立大学総資産ランキング 2003（関東版）

日本大学	7060 億円	帝京大学	4000 億円	慶應義塾大学	3460 億円
東海大学	3370 億円	早稲田大学	2900 億円	明治大学	1820 億円
東京理科大学	1480 億円	中央大学	1480 億円	法政大学	1330 億円
上智大学	900 億円	立教大学	760 億円		

### 3) 私立大学流動資産ランキング 2003（関東版）

帝京大学	1010 億円	慶應義塾大学	670 億円	日本大学	560 億円
東京理科大学	430 億円	東海大学	410 億円	明治大学	360 億円
法政大学	220 億円	早稲田大学	210 億円	中央大学	210 億円
立教大学	110 億円	上智大学	50 億円		

## 6 学生の学力

### 1) 帝京大学 センターランク

医学部 95% 薬学部 90% 医療技術学部 79% 経済学部 73% 法学部 65%  
文前期 69% 理工前期 54%

### 2) 帝京平成大学 平成 19 年度入試状況

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
薬学部	240	887	822	538	1,5
現代ライフ学部	690	3,814	3,689	1,605	2,3
ヒューマンケア学部	277	1,915	1,869	596	3,1
健康メディカル学部	415	4,164	4,037	942	4,3
	1622	10,807	10,417	3,681	2,8

## 二 論評

帝京大学グループのHPによれば、帝京大学グループとは、大学3校、短期大学4校)、専門学校6校、各種学校3校、中・高等学校9校、幼稚園7校である。

鶴蒔靖夫(つるまきやすお)著『帝京大学が世界のトップテンになる日』(平成4年)『続帝京大学が世界のトップテンになる日』(平成8年)という2冊の本がある。著者はフリーライターである。この本によれば、帝京大学及び同グループの躍進の秘密は次の諸点にある。

### (1) 「脱偏差値」の大学

大学創設者の沖永壮一氏は大学の理念として「具体的に教育・研究をする大学」「特色ある大学」「偏差値にとらわれぬ中身ある大学」を掲げたという。具体的なのは3番目だけで、1番目、2番目は何のことだか分からない。ということは、偏差値にとらわれない、機軸の大学から脱した大学づくりということになる。偏差値が悪いのではない。学力を偏差値でしか測れず、あるいはそれしか活用しないのが悪いのである。大学が入学生の学力波動でも良いというメッセージを発したら、大学の教育は成り立たない。

### (2) 実学重視の大学

教育の柱として、「実学」、「国際性」、「開放性」を掲げたという。ここでもポイントは1番目の「実学」であり、学部構成を見れば医療・看護、情報、福祉・介護、教育・保育への傾斜が見て取れる。

### (3) 経営者による オーナーシップ

前掲書の著者によれば、大学の設置者である沖永壮一氏は「『教育者の目』と『経営者の目』という二つの目、つまり複眼を持ち合わせ、それが事業を展開していく上でバランス良く機能した」と述べている。これだけならば、何も珍しいことではない。

問題は、経営者によるオーナーシップを強調して、大学運営と法人経営を一体化したことである。著者によれば、「大学人が身につけてしまった悪しき民主主義の慣行」というもう一つの障害を乗り越えたというところにあるという。(未完)